

第1次

里庄町地域福祉活動計画

“つながろう里庄”をめざして

令和6年度～令和10年度



地域福祉活動計画とは

本計画は、里庄町社会福祉協議会が策定した計画です。里庄町行政が策定した「地域福祉計画」と連携・協働し、地域住民及び福祉等の関係機関、団体が地域福祉の推進に主体的に関わるための具体的な計画です。町民やボランティア、当事者などが主体的に参加し、地域社会を基盤に、地域福祉をどのように進めていくかをまとめたものです。

5年後このような地域を目指します

つながろう里庄

念野本基

あいさつを交わす
人が増えてきたよ



ボランティア活動
始めたよ

近所のみんなが集ま
れる場所ができたよ

丁々誠代飛交

近所の人があと
困ったことを助けて
くれたよ



町内で、話ができる人
増えたなあ

の土同居班で中で東北、さなむくの小室の飛交



第1次里庄町地域福祉活動計画(令和6年度～令和10年度)【概要版】

発行 社会福祉法人 里庄町社会福祉協議会

〒719-0301 岡山県浅口郡里庄町里見 1107 番地2

電話 : 0865-64-7218

Fax : 0865-64-7240



この計画の本編はホームページでご覧いただけます

<https://www.satosyou-syakyou.jp/>

里庄町地域福祉活動計画を具体的に推進するための指針となる基本理念から計画の実現に向けて4つの活動目標を定めました

現在の問題

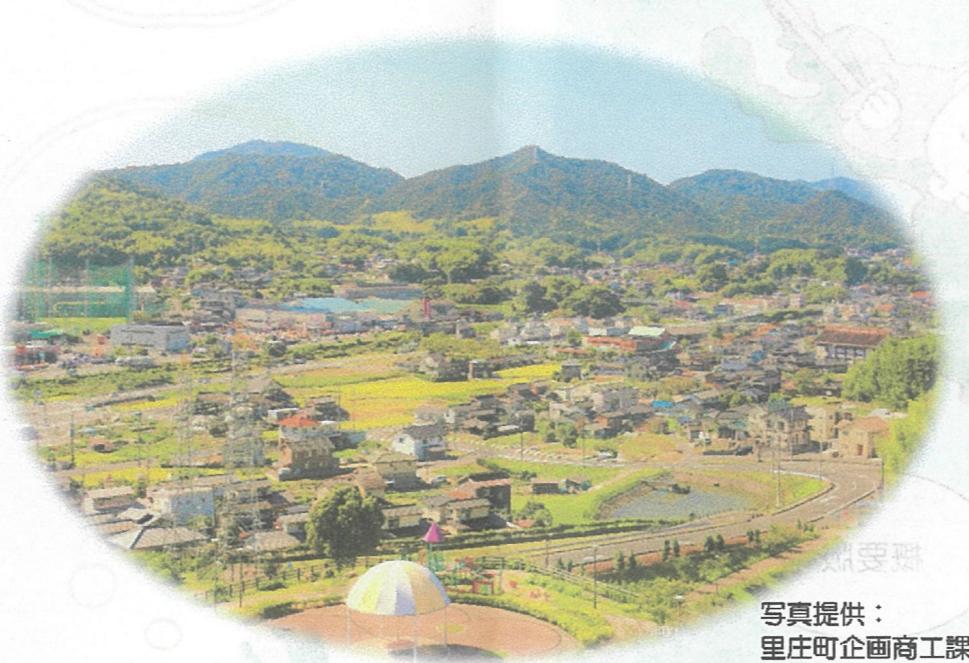
基本理念

活動目標

問題① 情報の共有ができないない

「情報を必要とする人」「情報を提供する人」で情報の活用が適切に行われていない可能性があります。

つながろう里庄



写真提供：
里庄町企画商工課

問題② つながりが弱く、交流が減っている

地域交流の縮小や減少から、地域の中で町民同士の関係づくりが難しくなりつつあります。

問題③ 地域活動の担い手や見守りをする人が少ない

地域の担い手やボランティアの高齢化がすすみ、減少しつつあり、地域の行事等の維持、存続に不安があります。

問題④ 安心して過ごせる居場所がない、自由に集える居場所がない

子どもや障がいのある人、またその家族が頼る先がなく、孤立を促進させる恐れがあると考えられます。

1 地域がつながる情報共有の推進

- ・地域の情報に関心をもち、回覧板に目を通しましょう。
- ・SNS等多様な媒体を活用し、情報共有の仕方を知りましょう。
- ・ちょっと困ったときに、話ができる人を増やしましょう。

2 つながりあえる地域交流の推進

- ・日常的にあいさつし、声を掛け合いましょう。
- ・地域の情報に関心を持ち、回覧板をよく読みましょう。
- ・地域の相談役を知りましょう。

3 担い手や見守りをする人が増え、育ち、継続できる体制づくり

- ・里庄町ボランティアセンターに登録しましょう。
- ・担い手や見守りについて話し合いましょう。
- ・町内のサービスや制度について知りましょう。

4 居場所づくりの推進

- ・里庄町にどんな居場所が必要か考え、話し合ってみましょう。
- ・声を掛け合って、居場所に参加しましょう。
- ・地域の担い手のサポートをしましょう。